



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ナイス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8089 URL <https://www.nice.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 杉田 理之  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 木口 直克 (TEL) 045-521-6111  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	48,318	△4.7	843	—	794	—	500	—
2020年3月期第1四半期	50,687	3.2	△1,744	—	△1,771	—	△379	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 910百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △2,354百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	53.33	—
2020年3月期第1四半期	△40.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	143,828	36,829	23.2	3,564.64
2020年3月期	148,650	35,992	21.9	3,474.38

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 33,426百万円 2020年3月期 32,580百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当金額につきましては、現時点で未定です。配当予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症の収束時期がまだ不透明であることに加え、より一層の長期化が懸念されるなか、2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することができる状況となるまで未定とさせていただきます。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	9,656,119株	2020年3月期	9,656,119株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	278,858株	2020年3月期	278,836株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	9,377,268株	2020年3月期1Q	9,377,667株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

なお、当社の監査法人は次のとおり異動しております。

2020年3月期 監査法人原会計事務所

2021年3月期第1四半期 UHY東京監査法人

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(追加情報)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

(有価証券報告書の虚偽記載の嫌疑と対応について)

当社は、昨年5月16日、金融商品取引法違反（虚偽有価証券報告書の提出罪）の嫌疑で、証券取引等監視委員会による強制調査および横浜地方検察庁による強制捜査を受けました。この事態を重く受け止め、5月30日に外部専門家等で構成される第三者委員会を設置、その調査結果を踏まえ、8月1日に2014年3月期の第4四半期以降の決算を訂正、また、8月23日付で再発防止策の骨子を策定しました。その後、東京証券取引所から9月20日付で特設注意市場銘柄に指定されました。この事態を深く反省し、自ら網羅的に再点検するとともに、外部の専門家の再点検等を受け、11月14日に過年度の決算を訂正しました。更に、2020年1月29日に再発防止に向け、「改善計画・状況報告書」を公表しました。本計画に基づき、グループの収益力改善に向けて、グループ会社の統合・整理等を行うことにより不採算事業を見直すとともに、3月31日付ですてきなナイスグループ(株)がナイス(株)を吸収合併してナイス(株)に商号変更するなど、コーポレート・ガバナンス体制の再構築に努めてきました。

6月16日には、証券取引等監視委員会から内閣総理大臣および金融庁長官に対して、当社に対する24百万円の課徴金納付命令を発出するよう勧告が行われ、6月18日付で審判手続開始決定通知書を受領いたしました。これに対し、当社は、金融庁から発出される課徴金納付命令に従い、当該課徴金を納付することを決定いたしました。当社といたしましては、この度の事態を厳粛に受け止め、引き続き、コーポレート・ガバナンス体制と企業風土の再構築を図るとともに、収益力の改善に努め企業価値を向上させることにより、株主、投資家の皆様および関係者の皆様、社会からの信頼回復に向けて取り組んでまいります。

(当期の経営成績)

当社グループの当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済は大きく減速し、日本においても緊急事態宣言が発出され、外出自粛や休業要請などにより経済活動は大幅に抑制されました。住宅業界におきましては、各地の住宅展示場等の閉鎖や対面による営業活動の自粛、建築工事の先送り、消費や投資の大幅な落ち込みなどを背景に、新設住宅着工戸数は減少を続けております。

こうした中、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は483億18百万円(前年同期比4.7%減少)となったものの、粗利益率の改善、販売用不動産の売却を行ったこと及び経費が減少したことに伴い、営業利益は8億43百万円(前年同期は営業損失17億44百万円)、経常利益は7億94百万円(前年同期は経常損失17億71百万円)となりました。また、経営の健全化に向けた事業構造等の改善に要した弁護士費用やコンサルティング費用など、1億68百万円の特別損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億79百万円)となりました。

### セグメント別売上高の内訳

(単位：百万円)

セグメント	部門	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前連結会計年度
建築資材	建築資材	41,408	37,869	171,843
住宅	一戸建住宅	2,093	2,675	27,431
	マンション	923	634	8,900
	管理その他	4,416	5,119	34,232
	計	7,433	8,430	70,564
その他	その他	1,845	2,019	9,067
	合計	50,687	48,318	251,475

## 【建築資材事業】

当第1四半期連結累計期間における建築資材事業の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い新設住宅着工戸数が減少したことなどにより、378億69百万円(前年同期比8.5%減少)となりました。一方、感染拡大防止の観点から対面での営業活動を自粛するとともに、オンライン受発注システム「ナイスアドバン」の活用及びテレワークを促進したことなどにより、販売費及び一般管理費が減少した結果、営業利益は6億36百万円(前年同期比28.7%増加)となりました。

### 商品別売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前連結会計年度
木材	14,682	13,577	58,741
建材・住宅設備機器	26,726	24,292	113,102
合計	41,408	37,869	171,843

## 【住宅事業】

当第1四半期連結累計期間における住宅事業の売上高は、一戸建住宅の計上戸数が前期から22戸増加したことに加え、販売用不動産の売却などにより、84億30百万円(前年同期比13.4%増加)となりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から販売キャンペーン等をはじめとする営業活動を自粛するとともに、インターネットやバーチャル・リアリティー映像を活用した販売活動及びテレワークを促進したことなどにより、販売費及び一般管理費が減少した結果、営業利益は2億44百万円(前年同期は営業損失15億15百万円)となりました。

### I 一戸建住宅・マンションの売上計上・契約戸数実績

(売上計上戸数実績)

(単位：戸)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前連結会計年度
一戸建住宅	47	69	619
マンション	16	14	200
(首都圏)	(16)	(10)	(96)
(その他)	(-)	(4)	(104)
合計	63	83	819

(契約戸数実績)

(単位：戸)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前連結会計年度
一戸建住宅	124	63	610
マンション	27	16	231
(首都圏)	(18)	(15)	(196)
(その他)	(9)	(1)	(35)
合計	151	79	841

## II 販売用不動産の内訳

契約済を含む「完成販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ6億9百万円減少しました。建築中の「仕掛販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ21億83百万円増加しました。また、建築着工前の「開発用不動産」は、前連結会計年度末に比べ24億94百万円減少しました。

「販売用不動産」合計では前連結会計年度末に比べ9億19百万円減少しております。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減
完成販売用不動産	6,452	5,842	△609
仕掛販売用不動産	4,563	6,747	2,183
開発用不動産	9,958	7,464	△2,494
合計	20,975	20,055	△919

### 【その他の事業】

その他の事業には、一般放送事業（有線テレビ放送事業）等の生活関連サービス事業、建築工事事業等が含まれております。一般放送事業を行うYOUテレビ㈱や、ソフトウェア開発事業及びシステム提供事業を行うナイスコンピュータシステム㈱が堅調に推移したことにより、売上高は20億19百万円（前年同期比9.4%増加）、営業利益は2億81百万円（前年同期比69.0%増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ48億21百万円減少し、1,438億28百万円となりました。現金及び預金が減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ56億58百万円減少し、1,069億99百万円となりました。支払手形及び買掛金、借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億36百万円増加し、368億29百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の収束時期がいまだ不透明であることに加え、より一層の長期化が懸念されるなか、2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することができる状況となるまで未定とさせていただきます。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,746	15,685
受取手形及び売掛金	36,833	35,748
商品	7,720	8,006
販売用不動産	20,975	20,055
未成工事支出金	906	1,171
その他	4,475	6,062
貸倒引当金	△45	△39
流動資産合計	90,612	86,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,892	11,621
土地	29,621	29,046
その他（純額）	3,355	3,264
有形固定資産合計	44,869	43,933
無形固定資産	609	581
投資その他の資産		
投資有価証券	4,758	4,976
その他	8,073	7,933
貸倒引当金	△272	△285
投資その他の資産合計	12,559	12,623
固定資産合計	58,038	57,138
資産合計	148,650	143,828
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,363	30,517
短期借入金	32,941	31,865
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	573	140
引当金	996	372
その他	7,925	9,212
流動負債合計	76,840	72,148
固定負債		
社債	120	120
長期借入金	24,539	23,910
退職給付に係る負債	1,304	1,247
資産除去債務	42	42
その他	9,811	9,530
固定負債合計	35,817	34,850
負債合計	112,658	106,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,069	22,069
資本剰余金	15,724	10,670
利益剰余金	△1,727	3,728
自己株式	△678	△678
株主資本合計	35,387	35,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△504	△190
繰延ヘッジ損益	△17	6
土地再評価差額金	△969	△871
為替換算調整勘定	△917	△930
退職給付に係る調整累計額	△398	△377
その他の包括利益累計額合計	△2,807	△2,362
非支配株主持分	3,412	3,402
純資産合計	35,992	36,829
負債純資産合計	148,650	143,828



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	50,687	48,318
売上原価	44,483	40,797
売上総利益	6,203	7,521
販売費及び一般管理費	7,947	6,677
営業利益又は営業損失(△)	△1,744	843
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	125	63
その他	123	111
営業外収益合計	258	178
営業外費用		
支払利息	250	195
その他	34	32
営業外費用合計	285	228
経常利益又は経常損失(△)	△1,771	794
特別利益		
固定資産売却益	4	67
投資有価証券売却益	2,200	—
特別利益合計	2,204	67
特別損失		
固定資産除売却損	18	8
投資有価証券売却損	542	—
事業構造改善費用	123	160
特別損失合計	685	168
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△252	693
法人税、住民税及び事業税	147	111
法人税等調整額	△81	17
法人税等合計	66	129
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△318	564
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	64
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△379	500

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△318	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,947	313
繰延ヘッジ損益	4	24
為替換算調整勘定	△68	△12
退職給付に係る調整額	△24	20
その他の包括利益合計	△2,035	345
四半期包括利益	△2,354	910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,414	850
非支配株主に係る四半期包括利益	60	59

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月30日開催の定時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金を5,054百万円、別途積立金を5,000百万円、繰越利益剰余金に振り替えております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

#### ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,408	7,433	48,841	1,845	50,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	715	83	799	1,318	2,118
計	42,124	7,517	49,641	3,164	52,805
セグメント利益又は損失(△)	494	△1,515	△1,021	166	△854

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般放送事業、建築工事事業及びソフトウェア開発・販売事業等を含んでおります。

#### ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,021
「その他」の区分の利益	166
セグメント間取引消去	△13
全社費用(注)	△876
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,744

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,869	8,430	46,299	2,019	48,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	584	49	634	1,102	1,737
計	38,454	8,479	46,934	3,122	50,056
セグメント利益	636	244	880	281	1,162

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般放送事業、建築工事業及びソフトウェア開発・販売事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	880
「その他」の区分の利益	281
セグメント間取引消去	99
全社費用(注)	△418
四半期連結損益計算書の営業利益	843

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前第1四半期連結累計期間において、「特別損失」の「その他」に含めていた「事業構造改善費用」は、特別損失の100分の20を超えたため、当第1四半期連結累計期間において独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「特別損失」の「その他」に表示していた123百万円は、「事業構造改善費用」123百万円として組み替えております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。